

目 次

概要

1 設立経緯.....	7 - 3
2 設置目的.....	7 - 3
3 事業の概要.....	7 - 3
4 平成15年度の主な事業実績.....	7 - 3
5 施設の概要.....	7 - 4
6 組織.....	7 - 5
7 県との関係.....	7 - 6
8 財務の状況.....	7 - 7

実地監査年月日

実地監査年月日.....	7 - 10
--------------	--------

監査結果 指摘事項

(契約事務について)

1 入札手続について(共通).....	7 - 10
---------------------	--------

意見

(物品管理について)

1 備品等に係る管理手続について.....	7 - 11
2 稼働率の低い施設について.....	7 - 11

(会計事務について)

3 賞与引当金計上の必要性について(共通).....	7 - 11
4 人件費の計算書類上の表示について(共通).....	7 - 12
5 計算書類の注記事項について(共通).....	7 - 12
6 財務状況の公開について(共通).....	7 - 12

(県と出資団体との関係について)

7 県派遣職員に対する人件費負担のあり方について(共通).....	7 - 12
8 委託料の精算方式について(共通).....	7 - 12

(管理運営状況について)

9 理事会の強化について(共通).....	7 - 12
-----------------------	--------

(財)群馬県馬事公苑

1 0	指定管理者制度への対応について(共通)	7 - 13
1 1	中長期経営計画について(共通)	7 - 13
1 2	人事運用の自立化について(共通)	7 - 13
1 3	人件費抑制施策について(共通)	7 - 13
1 4	行政コスト計算書の作成と活用について(共通)	7 - 13

(出資団体のあり方について)

1 5	馬事公苑の今後のあり方について.....	7 - 15
-----	----------------------	--------

財団法人 群馬県馬事公苑

概要

1 設立経緯

財団法人群馬県馬事公苑(以下「馬事公苑」という。)は、昭和58年に開催された「あかぎ国体」の馬術競技場跡地の有効利用と国体開催による県民の馬術への関心の高まりに対応するため、昭和59年に設立された県100パーセント出資の公益法人である。昭和61年から群馬県馬事公苑の管理運営を受託している。

2 設置目的

馬事公苑は、広く県民に馬事技術及び馬事知識の普及及び奨励並びに優良乗用馬の育成及び供給等を行うことにより、県民の動物愛護心の涵養、青少年の健全な心身の育成及び乗馬技術の向上に寄与することを目的とする。

3 事業の概要

馬事公苑は、上記の目的を達成するため、次の事業を行っている。

- (1) 馬事技術及び馬事知識の普及及び奨励事業
- (2) 優良乗用馬の育成及び供給事業
- (3) 公有馬事施設の受託管理
- (4) その他設置の目的を達成するために必要な事業

4 平成15年度の主な事業実績

(単位：千円)

事業名	事業概要	決算額
(1)馬事技術及び馬事知識の普及及び奨励事業	子ども乗馬教室(春・夏・秋・冬・こどもの日) 短期乗馬教室 平日無料体験乗馬会 乗馬少年団員育成 馬事公苑乗馬大会	2,784
(2)優良乗用馬の育成及び供給事業	寄附された馬の調教を行い、優良乗用馬として育成、当馬事公苑にて活用する。	0
(3)県有馬事施設の受託管理	県有施設である馬事公苑の管理を受託し、乗馬初心者を中心とした県民に対して、低料金かつ気軽に乗馬を体験できる施設として運営している。また、引き馬乗馬により、子どもたちにも動物にふれあう機会を提供している。	97,421

5 施設の概要

所在地：勢多郡富士見村小暮 2425 (所有者：群馬県)

施設名	設置・開設	敷地面積	延べ床面積	取得価額
管理棟(1F厩舎)	昭和61年	620.43 m ²	900.23 m ²	106,064 千円
第2厩舎	昭和61年	195.24 m ²	195.24 m ²	18,624 千円
屋内馬場	昭和61年	1,115.54 m ²	1,210.65 m ²	227,401 千円
第3厩舎	昭和63年	215.60 m ²	431.20 m ²	87,860 千円
宿舎	昭和63年	82.30 m ²	82.30 m ²	17,000 千円
観覧席(西側)	昭和61年	56.00 m ²	56.00 m ²	5,177 千円
観覧席(東側)	昭和62年	134.66 m ²	134.66 m ²	32,900 千円
堆肥舎	昭和61年	47.00 m ²	47.00 m ²	1,933 千円
土地	昭和61年	15,915.60 m ²	-	273,748 千円

6 組織

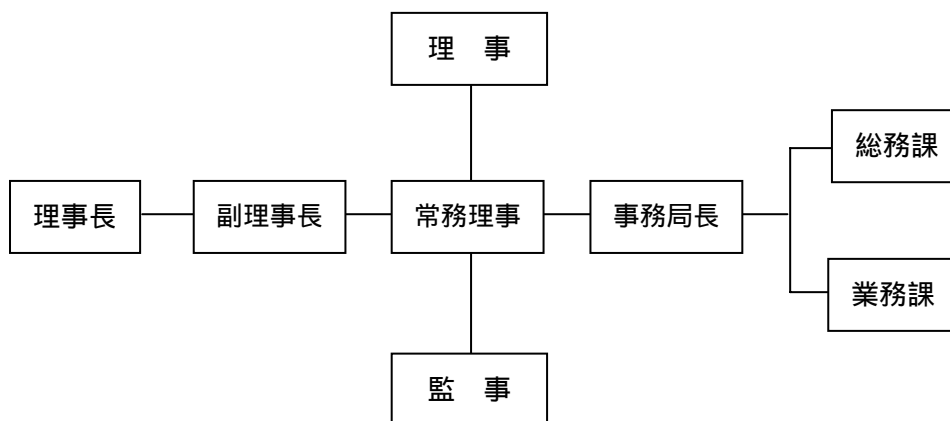
(1)人員構成

(平成16年3月31日現在)(単位:人)

区 分		一 般	県 現 職	県派遣	プロパー 職 員	嘱託臨時 職 員	合 計
役 員	理 事 長	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	副理事長	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)
	常務理事	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)
	理 事	9(9)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	9(9)
	監 事	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)
	小 計	9(9)	3(3)	0(0)	0(0)	0(0)	12(12)
職 員	事務局長	0	0	1	0	0	1
	総務課	0	0	0	2	1	3
	業務課	0	0	0	4	3	7
	小 計	0	0	1	6	4	11
合 計		9(9)	3(3)	1(0)	6(0)	4(0)	23(12)

補足事項... ()内は、非常勤役員数である。

(2)組織図



7 県との関係

(1) 出資

(単位：千円)

出資先	平成13年度	平成14年度	平成15年度
群馬県	200,000 (100%)	200,000 (100%)	200,000 (100%)
合計	200,000 (100%)	200,000 (100%)	200,000 (100%)

補足事項... () は、出資比率である。

(2) 県からの補助金

(単位：千円)

施設別	補助の内容	平成13年度	平成14年度	平成15年度
馬事公苑	管理費補助	76,175	75,849	63,285
合計		76,175	75,849	63,285

補足事項...馬事公苑の人件費は、ほぼ全額補助金により賄われている。平成13年度までは県派遣職員(1名分)の人件費は、県から直接支給されていたが、派遣法の改正により、平成14年度からは馬事公苑で全額支給しているため、補助金の額に含まれている。

また、平成13年度までは自主事業収入(7,689千円)は委託料から控除されていたが、平成14年度からは管理費補助金から控除されている。

(3) 県からの委託料

(単位：千円)

所管課	委託の内容	平成13年度	平成14年度	平成15年度
畜産課	施設管理委託	10,987	19,865	18,846
合計		10,987	19,865	18,846

補足事項...平成13年度から平成14年度にかけて増加している内容は、県からの補助金補足事項に記載のとおりである。

(4) 県に対する賃借料支払

(単位：千円)

所管課	賃借物件	平成13年度	平成14年度	平成15年度
畜産課	県有馬	1,183	1,395	1,135
合計		1,183	1,395	1,135

8 財務の状況

馬事公苑の計算書類は、便宜上科目について要約して表示してある。

(1) 収支計算書

(単位：千円)

科 目	平成13年度	平成14年度	平成15年度	-
基本財産運用収入	3,360	2,821	2,440	-381
事業収入	7,688	8,448	8,464	16
管理受託収入	10,987	19,865	18,846	-1,019
補助金収入	76,175	75,849	63,285	-12,563
特定預金取崩収入	2,689	0	11,580	11,580
その他の収入	373	365	229	-136
当期収入合計	101,275	107,350	104,846	-2,503
前期繰越収支差額	4,051	3,873	5,108	1,234
収入合計	105,326	111,223	109,954	-1,268
管理費	97,108	99,714	97,421	-2,292
人件費	73,230	79,614	67,289	-12,325
退職金	2,689	0	11,580	11,580
その他	21,188	20,099	18,551	-1,547
事業費	1,444	1,610	2,784	1,173
自主事業	1,444	1,610	2,784	1,173
固定資産取得支出	0	0	490	490
特定預金支出	2,900	4,790	3,971	-818
当期支出合計	101,453	106,115	104,667	-1,448
当期収支差額	-178	1,234	179	-1,055
次期繰越収支差額	3,873	5,108	5,287	179

(2) 正味財産増減計算書

(単位：千円)

科 目	平成13年度	平成14年度	平成15年度	-
資産増加額	2,900	6,025	4,641	-1,384
当期収支差額	0	1,234	179	-1,055
投資有価証券増加額	0	0	490	490
退職給与引当預金増加額	2,900	4,790	3,971	-818
負債減少額	2,689	0	11,580	11,580
退職給与引当金取崩額	2,689	0	11,580	11,580
増加額合計	5,590	6,025	16,221	10,195
資産減少額	2,868	0	11,580	11,580
当期収支差額	178	0	0	0
退職給与引当預金取崩額	2,689	0	11,580	11,580
負債増加額	2,900	4,790	3,971	-818
退職給与引当金繰入額	2,900	4,790	3,971	-818
減少額合計	5,768	4,790	15,551	10,761
当期正味財産増減額	-178	1,234	669	-565
前期繰越正味財産額	204,051	203,873	205,108	1,234
期末正味財産合計額	203,873	205,108	205,777	669

(3)貸借対照表

(単位：千円)

科 目	平成13年度	平成14年度	平成15年度	-
資産の部				
流動資産	8,187	9,557	7,392	-2,165
現金預金	7,894	9,098	7,110	-1,987
未収金	292	432	253	-178
前払金	0	27	27	0
固定資産	228,094	232,885	225,767	-7,118
基本財産	200,000	200,000	200,000	0
基本財産積立預金	80,000	102,800	75,600	-27,200
投資有価証券	120,000	97,200	124,400	27,200
その他の固定資産	28,094	32,885	25,767	-7,118
投資有価証券	0	0	490	490
退職給与引当預金	28,094	32,885	25,277	-7,608
資産合計	236,281	242,442	233,159	-9,283
負債の部				
流動負債	4,313	4,449	2,104	-2,344
未払金	3,386	3,937	1,813	-2,124
預り金	927	511	291	-220
固定負債	28,094	32,885	25,277	-7,608
退職給与引当金	28,094	32,885	25,277	-7,608
負債合計	32,408	37,334	27,381	-9,953
正味財産の部				
正味財産	203,873	205,108	205,777	669
正味財産合計	203,873	205,108	205,777	669
負債及び正味財産合計	236,281	242,442	233,159	-9,283

(4)重要な会計方針

退職給与引当金	自己都合による期末退職給与の要支給額に相当する金額を全額計上している。
資金の範囲	資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、仮払金、未払金及び預り金を含めている。
消費税等の会計処理	消費税等の会計処理については、税込経理方式を適用している。

(5) 収入及び施設の利用状況の推移

年 度	利用件数 (単位：件)			年間収入 (単位：千円)		
	乗 馬	その他	合 計	使用料 (県)	自主事業 (馬事公苑)	合 計
昭和 61	1,687	1,630	3,317	5,302	1,529	6,831
昭和 62	2,532	1,938	4,470	8,346	2,250	10,596
昭和 63	3,451	2,597	6,048	11,127	2,763	13,890
平成 1	4,011	3,417	7,428	13,571	2,903	16,474
平成 2	3,944	3,566	7,510	13,128	3,131	16,259
平成 3	4,865	4,374	9,239	15,412	4,162	19,574
平成 4	5,906	4,642	10,548	20,049	5,834	25,883
平成 5	7,113	4,565	11,678	25,149	6,783	31,932
平成 6	8,599	4,056	12,655	27,952	7,057	35,009
平成 7	8,574	5,135	13,709	28,606	6,894	35,500
平成 8	10,161	4,947	15,108	33,360	8,742	42,102
平成 9	9,679	4,336	14,015	31,312	8,915	40,227
平成 10	9,479	3,771	13,250	31,268	8,850	40,118
平成 11	8,896	3,575	12,471	28,232	8,281	36,513
平成 12	8,941	2,962	11,903	27,835	8,684	36,519
平成 13	8,123	3,175	11,298	25,402	7,688	33,091
平成 14	8,413	3,074	11,487	26,597	8,448	35,046
平成 15	8,983	2,822	11,805	28,211	8,464	36,676
合計	123,357	64,582	187,939	400,869	111,380	512,249

補足事項...利用件数、収入金額ともに平成 8 年度をピークに漸減傾向にある。この 2 年間、県広報等の PR に努めた結果、微増に転じているが、ほぼ平成 7 年度の水準であり、8 年前の収入金額と大差ない状況である。また、この間平成 8、9、12 各年度に使用料改正を行っている。

(6) 収支の状況及び財政状態について

収支の状況について

平成 13 年度から平成 14 年度にかけての補助金収入の増加(8,552 千円)及び人件費支出の増加(6,384 千円)の原因は、従来県派遣職員(1 名分)の人件費が、県から直接支給されていたが、平成 14 年度からは馬事公苑で全額支給し、県補助金で補填する制度に変更になったためである。

平成 15 年度の特定期預金取崩収入及び退職金(11,580 千円)は、常務理事及びプロパー職員 2 名の退職金の支払いによるものである。

財政状態について

平成 13 年度から平成 15 年度にかけての退職給与引当金及び同引当預金の減少は、退職者(平成 13 年度 1 名、平成 15 年度 3 名)の退職金の一部に充当したことによるものである。

平成 15 年度における投資有価証券の増額は、基本財産積立預金を国債で運用したことによるものである。

実地監査年月日

平成 16 年 7 月 21 日及び平成 16 年 7 月 22 日

監査結果 指摘事項

監査を実施した範囲内において、事業の運営は設置目的に従い、出納その他の事務もほぼ適正に処理されていたが、留意すべき次の事項が認められた。

(契約事務について)

1 入札手続について(共通)

指名競争入札されるべき契約が随意契約となっている事例が認められた。

(現状及び問題点)

警備委託契約については平成 13 年度から平成 15 年度まで継続して同一業者と 1 者随意契約を締結しているが、金額基準から判定すると、本来入札手続によるべきものである。

1 者随意契約の理由は「警報装置配線済のため、他の業者では割高になってしまう。」ということであるが、警報装置の配線は業者負担で設置のため、理由は不合理である。

(改善策)

馬事公苑会計規程第 38 条で準用が規定されている群馬県財務規則第 188 条によると、上記契約価額は指名競争入札の必要がある。コストの削減、公正性及び透明性の確保等の観点から、入札契約の規定は厳密に解釈し、厳守する必要がある。

(参照 共通監査結果の項 1 - 10 頁)

意見

(物品管理について)

1 備品等に係る管理手続について

県有財産と預り品が混在して管理ができていない備品がある。

(現状及び問題点)

馬術用機材(セット障害~障害馬術競走において使用される障害物の機材)につき、群馬県馬術連盟(県馬連)のものも含まれているようだが、群馬県のものと同馬連のものが混在していてどれがどちらのものかわからない。

(セット障害は平成5年に関東ブロックの大会がありそのときに買ったものであり、その後補修をして使っている)。

(改善策)

備品については群馬県のものと同馬連のものが区別できるように管理すべきである。

2 稼働率の低い施設について

利用の少ない施設があるが、稼働率を高める対策が必要である。

(現状及び問題点)

敷地内に宿泊施設があるが、平成15年度では18人(44,640円)の利用であり、稼働率が極端に低い。馬事公苑によれば、稼働率の低い大きな理由は、炊事施設のないこととのことである。

利用料金は一泊3,510円(うち県収入2,480円、馬事公苑収入布団代1,030円)である。

現在では宿泊の必要がある時は、近くの国立赤城青年の家の利用が多い。

(改善策)

県有財産の稼働率を高めるためにも、なんらかの対応策を考えるべきである。

(会計事務について)

3 賞与引当金計上の必要性について(共通)

プロパー職員の期末及び勤勉手当については賞与引当金を計上して発生主義で会計処理すべきである。...平成15年度残高3,903千円

(参照 共通意見の項1-19頁)